

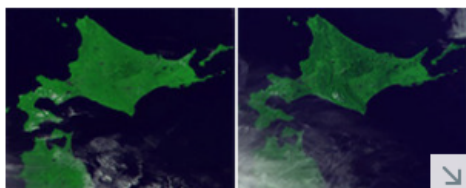
メディア掲載情報： 毎日新聞朝刊 平成 28 年 9 月 23 日付

平成 28 年 9 月 23 日付、毎日新聞朝刊の「くらしナビ、気象・防災」のページの“ひまわり EYE”シリーズ最終回に、当センターの梶原康司講師署名記事が「ひまわり 8 号」画像とともに掲載されました。梶原講師は植生分野の研究にも力を入れており、その視点からひまわり 8 号について語りました。下記、記事（web 版抜粋）をご参照ください。

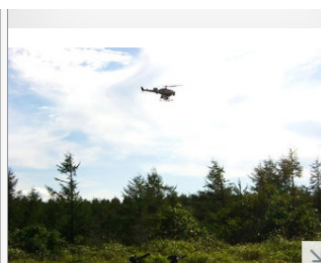
ひまわり EYE 植生研究に「答え」

毎日新聞 2016年9月23日 東京朝刊

オピニオン > コラム > 気象・地震



ひまわり 8 号から見ると、地表面が太陽照明角度によって異なる「表情」を見せる（地形の効果も含まれる）。2015年8月15日午後1時（左）と午後5時＝千葉大提供



無線操縦ヘリに乗せた観測機器で森林のデータを実測している様子＝千葉大提供

そこに登場したのがひまわり 8 号だ。陸上植物の観測も可能なセンサーを備え、北半球で 10 分に 1 回、日本付近は 2・5 分に 1 回の頻度で観測値を得られる。つまり太陽の当たる方向に伴う植物群落の観測値の変化について、刻々と「答え」を提供してくれるのだ。

それは、これまででは考えられないほどの頻度である。宇宙航空研究開発機構（JAXA）が来年打ち上げる地球観測衛星（GCOM-C）とともに、有用なデータの蓄積が期待される。＜梶原康司・千葉大講師＞



「ひまわり EYE」は今回で終了します。

共同企画・監修 情報通信研究機構（NICT）／千葉大環境リモートセンシング研究センター

（平成 28 年 9 月 23 日付毎日新聞朝刊より）

※上記シリーズは、情報通信研究機構（NICT）と CEReS の共同企画・監修のもと、平成 27 年 10 月の下半期より、毎週金曜日毎日新聞朝刊に掲載されました。

第 1 回からの画像は、NICT サイエンスクラウド [“ひまわり EYE”のページ](#) よりご覧いただけます。

GCOC-C に関する共同研究のお問い合わせ
千葉大学環境リモートセンシング研究センター：梶原
TEL：043-290-3845
mail：kkaji@faculty.chiba-u.jp
<http://atmos2.cr.chiba-u.jp/skynet/>

ひまわり 8 号データに関するお問い合わせ
千葉大学環境リモートセンシング研究センター：樋口
TEL：043-290-3870
mail：webmaster@ceres.cr.chiba-u.ac.jp
<http://www.cr.chiba-u.jp/~database-jp/wiki/wiki.cgi>